

西伊豆健育会病院 施設管理 関口 道則

功 績 施設管理職員が陽性、濃厚接触で出勤出来ない中、明るく孤軍奮闘した功績。
推 薦 者 染谷 智之
推 薦 理 由 1ヶ月に渡るクラスターの中、常に明るく、ポジティブに行動し、暗くなりがちな職場の
雰囲気をも明るくしてくれました。このような職員がいたお陰で、厳しい状況を脱する事
が出来たと思います。

内 容

2月10日から当院では新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。

職員34名が陽性となり、濃厚接触者含め、多くの職員が出勤出来なくなり、業務上必要人員の確保が出来ない状態となった。

特に施設管理課は、陽性者3名、濃厚接触者5名と、関口職員以外、全員が出勤出来ない状態となった。総務課、医事課、医療連携室からの応援を受け、院内清掃や患者送迎といった通常業務の他に、全病棟レッドゾーンとなった為、ゴミ箱やパーテーション設置といった感染対策の手伝いと多忙な期間を何とか乗り切ることが出来た。

このような状態でも関口職員は笑顔を絶やすことなく、普段より更に元気に業務にあたり、落ち込み気味な職場の雰囲気をも明るい雰囲気に変えてくれていた。

また、入院中に濃厚接触となり、近隣ホテルに一時滞在していた患者さんが発熱し、ホテルから当院に移送する業務が発生した際、他の職員が戻込みする中、関口職員は自ら名乗り出て、送迎の役割を担ってくれた。

このような状況で、どれだけ前向きに業務にあたれるかは、職員によって大きな差が出る。決してネガティブにならず、ポジティブに行動し、クラスター終息に多いに貢献した関口職員を理事長賞に推薦します。